

「箕面市教育大綱2016」の重点施策

- 1 貧困の連鎖の根絶
- 2 学校組織体制の再構築
- 3 すべての児童生徒の学力の向上
- 4 児童生徒・青少年の居場所づくり
- 5 子育て支援と外出促進

1 貧困の連鎖の根絶

- 平成28年4月に「子ども成長見守り室」を設置しました。
- 「箕面市における子どもの貧困実態調査」を実施中です。※平成29年3月結果公表
→「子どもの実態把握調査」と「地域資源調査」の二本立てで行っています。
(大阪府立大学山野則子研究室に委託)

子どもの実態把握調査

子どもの家庭環境と「箕面子どもステップアップ調査」(H25~27)の結果の関連を分析します。

家庭環境

- ・生活保護受給状況
- ・児童扶養手当受給状況
- ・虐待相談、保健指導相談の有無 など



地域資源調査（学校等への聞き取り）

学校や関係機関が連携し、地域で協力しながら子どもたちを支援できているかどうか、その支援の内容・頻度・手法等が十分かつ効果的かどうかを調査します。

【ヒアリング対象】

- ・各小中学校 ・幼稚園や保育所（一部）
- ・関係機関
(社協、NPO法人あっとすくーる、暮らしづくりネットワーク北芝、国際交流協会)
- ・子育て支援センター
- ・青少年指導センター
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・母子自立支援員、保健師 など

【ヒアリング内容】

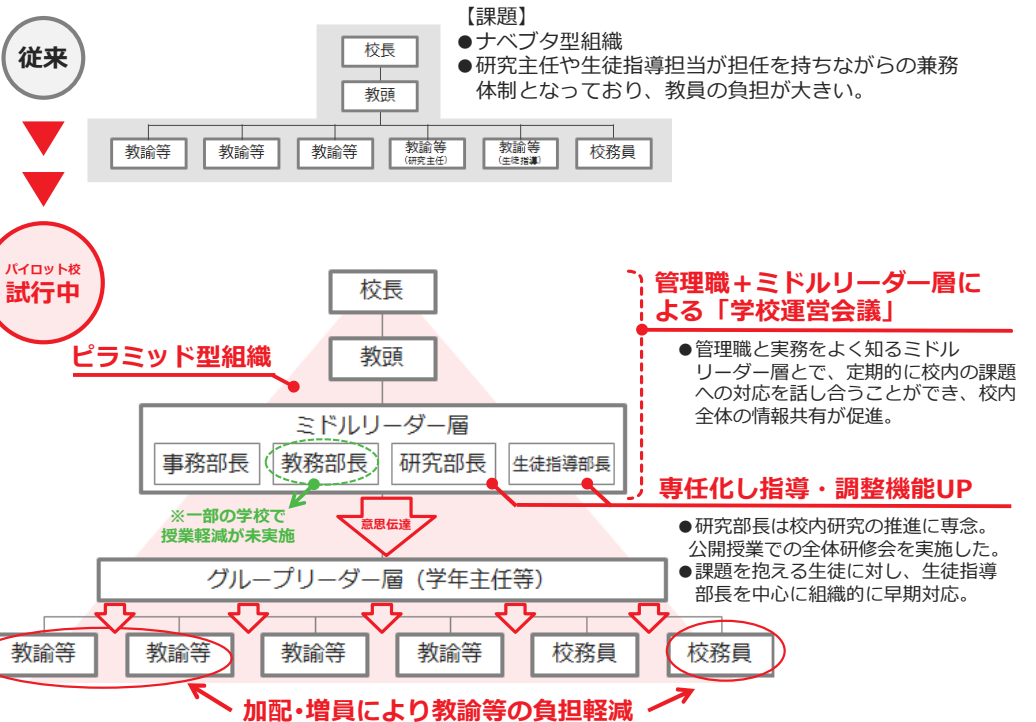
- ・対象となる子どもや家庭への支援体制
- ・ケース会議等の開催頻度や参加メンバー
- ・関係機関との連携における課題
- ・支援がうまくいった事例、そうでない事例

今後の取組

- 「子ども成長見守りシステム」の構築（文部科学省 実証研究事業）
 - ・見守りが必要な子どもを特定し、その状況変化を捉え、早期に支援を開始し、その支援による効果を長期にわたって分析するデータベースシステムを構築します。
 - ・平成29年4月本格稼働に向けて、業者選定等を進めています。
- 実態調査結果の活用
 - ・既存施策の拡充や新規施策の提案を行います。
 - ・地域資源調査で明らかになった支援の成功例等をもとに、支援体制の見直し・構築を行います。
- 小学校1～3年生の居場所及び学習支援のための「(仮称)子どもの家」開設に向け関係機関と協議を実施します。

2 学校組織体制の再構築

- 南小、一中、彩都の丘学園を「学校力向上パイロット校」に指定し、校長・教頭と教職員の間をつなぐミドルリーダー層・グループリーダー層を明確化し、ピラミッド型組織にしました。
- 授業支援員を市費で独自に加配するとともに校務員を増員し、研究部長及び生徒指導部長を専任化させました。



今後の取組

- 教務部長の授業軽減を進めるとともに、教務部長の役割を明確化します。
(日々の会議や行事運営の見直しなど、仕事の効率化の推進等)
- 教職員の業務分析及び箕面子どもステップアップ調査等の結果の分析を行うことで、組織体制の見直しに伴う効果を検証し、パイロット校拡大に向けた検討を進めます。
- 教務部長等の業務について整理した上で、学校組織の「あるべき姿の最終形」を描き、そこに至る過程としての組織体制を検討します。

3 すべての児童生徒の学力の向上

- 彩都の丘小学校、止々呂美中学校に習熟度別指導担当教員を新たに配置したことで、市内全校において、習熟度別指導の実施体制を整備できました。
- 小学校3～6年生の算数、中学校全学年の数学・英語で習熟度別指導を行っています。
- 習熟度別指導は、主に1学級2分割方式で行っています。
- 平成28年度1学期の算数の全授業数に対する実施率は、小学校で36.4%でした。

【参考】＊平成27年度1学期では32.0%

＊現行の加配体制で理論上可能となる最大実施率は、1学級2分割方式で41.8%、2学級3分割方式を併用した場合で73.9%（いずれも小学校の場合）



今後の取組

- 質面子どもステップアップ調査等の結果を分析し、効果的な実施手法・タイミング等について検証します。

検証内容	検証例：実施手法の比較
以下の要素が学力にどのように影響を与えているか。	
①実施率の高低	
②実施学年	
③実施教科（中学校のみ）	
④授業の人数規模	
⑤実施手法（1学級2分割、2学級3分割等）	

- 授業改善や教員の指導育成に活用するため、「質面子どもステップアップ調査」における教員の授業力・指導力に関するデータを各校長に提供しました。

同じクラスに属する子どもたちの学力の経年変化を追うことで、教科ごとの実力の変化を定量的に把握できることから、教員の授業力・指導力を客観的に比較することができます。



- 提供されたデータは、教員個人へフィードバックや、研究部長による授業観察・指導の際の参考として活用されています。

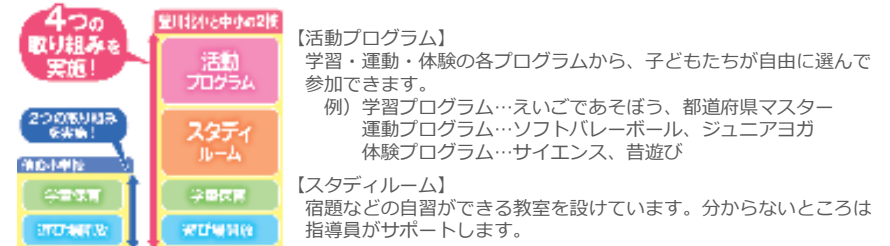
今後の取組

- 今後も、提供されたデータをもとに各教員の伸ばすべき資質と課題を校長が客観的に把握し、指導育成に活用します。

4 児童生徒・青少年の居場所づくり

- 放課後モデル事業を試行実施した豊川北小及び中小から課題や今後取り組みたいことをヒアリングするとともに、「あるべき放課後の過ごし方」というテーマで校長・副校長によるプレストを行いました。
- ヒアリングやプレスト結果をもとに、新放課後モデル事業の方向性をまとめました。

【放課後モデル事業の現状】



あるべき放課後の過ごし方
(主な意見)

- ・学習習慣をつける場、毎日の宿題を支援する場
- ・子どもが自主的、主体的に工夫する活動
- ・家庭環境に関わらず安心して学習できる場
- ・異学年のつながりを継続できる活動
- ・課題に挑戦し思考力を高める活動

より一層の
学びの充実へ

新放課後モデルの方向性 ～児童のレベルにあわせた学習活動の充実～

意欲があり結果も出せる児童



さらに
チャレンジできる
内容を提供

意欲はあるが結果が出せない児童



基礎力の向上

意欲が低く結果も出せない児童



学習習慣の
定着を図る
取り組み

今後の取組

- 新放課後モデル事業の実施に向けて、手法や費用、実施に向けたスケジュールなど、具体的な検討を進めます。

- 学校になじめない児童生徒に向けて、さまざまな施策を実施しています。
- 学力保障・学習支援事業については、今年度から、中学時にサポーターの派遣を受けていた高校生も、引き続き制度を利用できるようにしました（試行）。
＊平成28年9月末現在で、利用者は93名（内訳：小学生49名、中学生35名、高校生9名）

● 学力保障・学習支援事業

不登校や家庭の経済的な困窮等のため支援が必要な子どもを対象に、学生サポーターを学校や家庭に派遣し、学習を中心としたサポートを行っています。

● フレンズ（適応指導教室）

不登校の子どもが気軽に通える教室を、らいとびあ21に設置しています。学校復帰の支援として、日々の生活体験を広げることや人間関係づくりを大切にしながら、学習、創作活動、スポーツなどに取り組んでいます。

● 訪問型家庭教育相談

家庭教育に困難を抱える子どもとその保護者を対象に、支援員が家庭訪問などを実施し、生活習慣や学習習慣を確立するための支援を行っています。

● 臨床心理士など専門スタッフによる相談

今後の取組

- 学校復帰を支援する学びの場や、小学校1～3年生の居場所としての「(仮称)子どもの家」開設(※再掲)に向けた検討を進めます。

5 子育て支援と外出促進

■公共施設における「キッズコーナー」については、平成27年度までに7箇所設置しました。

- *「キッズコーナー」は、小さなお子さまでも安全に過ごせるよう床マットを敷き、絵本等を置いたスペースです。授乳室やおむつ交換室も備えています。
- *設置場所は、市役所本庁、豊川支所、小野原多世代地域交流センター、小野原多文化交流センター、中央図書館、第一総合運動場、ライフプラザです。

■「出張子育て広場」を拡大しました。

(H27年度：109回、H28年度：132回予定) ※小野原・彩都・森町地区で重点的に開催

- *「出張子育て広場」は、子育て支援センターの保育士が、たくさんのおもちゃを持って地域に出向き、ゆっくり遊んだり、お話ししたりしていただける場を提供する取り組みです。子育ての相談も受け付けています。

■母子保健事業を担う「子どもすこやか室」を教育委員会に設置することにより、妊娠・出産～子育てに係る支援や相談の実施体制を一体化させました。



●一体化の効果

- ・子育てに関する窓口がワンフロアになり、市民サービスが向上
- ・子育て支援センター、子どもすこやか室が実施するそれぞれのイベント等に職員を相互派遣

今後の取組

- イベント等への職員相互派遣にとどまらず、保育士・保健師が一体となってイベントを企画運営できる体制をめざします。(子育て支援課・子どもすこやか室)
- これまでバラバラに提供していた育児情報を、妊娠～就学までの各タイミングごとに冊子にまとめ、保護者が「なにをいつ、どうすればよいか」が分かりやすいように情報提供していきます。(子どもすこやか室)
- 公園における乳幼児向け遊具コーナーの整備について、公園の整備計画策定にあわせて検討を進めます。(公園緑地室)

〔参考〕出張子育て広場実施回数

実施場所	平成27年度 (実績)	平成28年度 (予定)
新稲会館	9	11
西南図書館	11	12
桜ヶ丘ヒューマンズプラザ	9	10
東生涯学習センター	11	12
四中開放教室	0	4
多世代地域交流センター	12	12
多文化交流センター	8	12
CUBE3110	11	12
彩都小コミセン天空の家	19	23
とどろみの森学園	13	17
森町地区センター	5	6
森町自治会館	1	1
合計	109	132